

2011.6.10

第1回アカデミック・リンク・セミナー

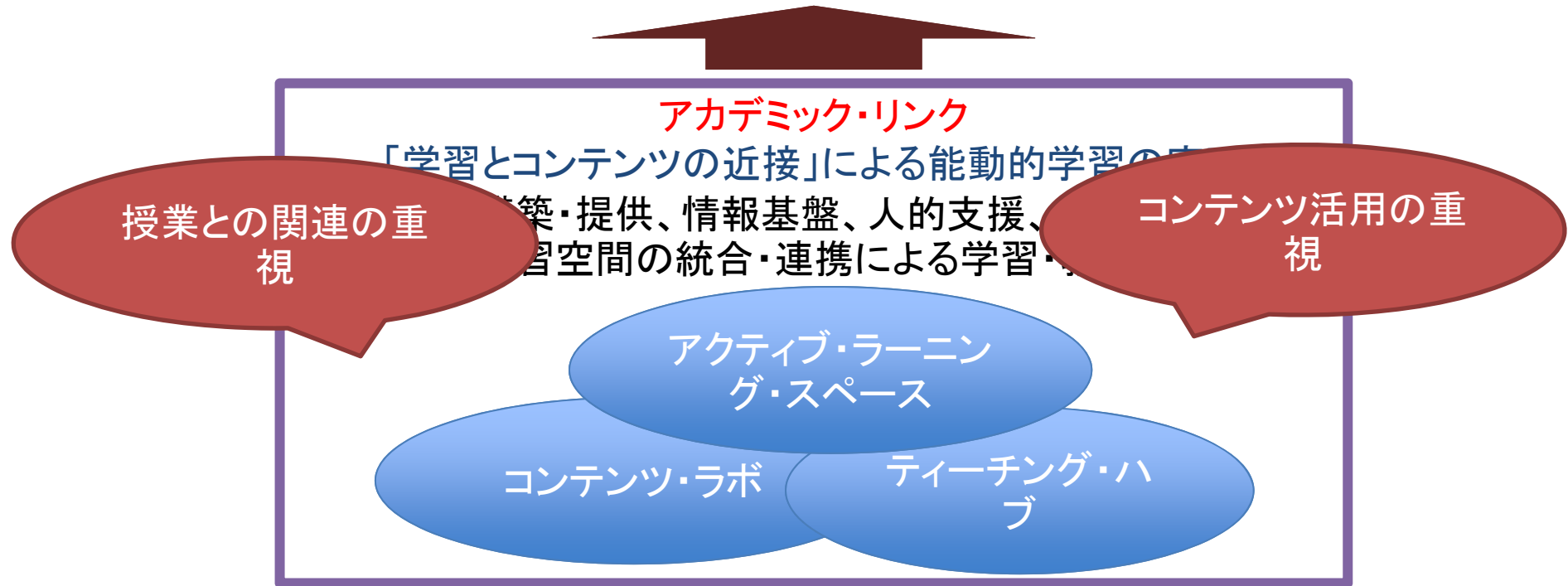
アカデミック・リンク, はじまる

新しい学習支援の形の実現にむけて

竹内 比呂也, 川本 一彦, 白川 優治
(千葉大学アカデミック・リンク・センター)

アカデミック・リンクによる千葉大学の教育改革

目的:「考える学生の創造」
「生涯学び続ける基礎的な能力」「知識活用能力」を持つ学生の育成



千葉大学中期目標・計画<教育方法改善への取組、アクティブ・ラーニングの重視>

大学に対する社会的要請

- 知識基盤社会、学習社会における市民の育成
- 高等教育のグローバル化の中での質の維持・向上
- 職業人としての基礎能力、創造的人材の育成

「学士課程教育の構築に向けて」(平成20年12月24日、中教審答申)

学生のニーズ

- 自由に使える学習スペース
- 文章作成力、ディスカッション能力、問題解決能力
- 英語によるコミュニケーション能力

「千葉大学の教育・研究に対する意識・満足度調査報告書」(平成21年度)

「学士課程教育の構築に向けて」、千葉大学中期目標・計画とアカデミック・リンク

「学士課程教育の構築に向けて」(中教審答申)において大学に求められている取組	千葉大学中期目標・計画	アカデミック・リンクにおける実現
<p>「単位制度の実質化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位制度の実質化の観点から教育方法の点検・見直しを行い、質の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間外に学生がなすべき課題を明示し、その活動に対してフィードバックを与えるような授業運営上の工夫等により、単位制度の実質化を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業そのもののコンテンツ化、教材の電子化および教科書、参考資料の電子化とオンライン提供による事前・事後学習の充実 ・学生の到達度に合わせた対話型学習支援の実現
<p>「教育方法の改善」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の動機付けを図りつつ、双方向型の学習を展開するため講義そのものを魅力あるものにするとともに、体験学習を含む多様な教育方法を積極的に取り入れる。 ・TA等を積極的に活用して双方向型の学習や少人数指導を推進する。 ・教育研究上の目的等に即して情報通信技術を積極的に取り入れ、教育方法の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ★学生が能動的に参加する授業の充実、情報化技術を応用した教育方法の開発と充実 ・アクティブ・ラーニングの手法を取り入れた科目やICTを活用した教育方法の量的、質的改善、TAの充実などを通して学習の双方向性を確保し、主体的な学びに裏打ちされた情報発信能力を涵養する。 ★教育環境を整備、充実による教育の効果の向上と快適な学習環境の実現 ・学习上必要な資料の体系的整備を行うとともに、教員と連携して授業に密着した情報提供機能を拡充、強化する。また、ICT環境を整備し、教育環境を充実させる。 ・自主的学習、情報交換及び課外活動の場として学生が利用できるスペースを充実させる。 ★学生の修学相談実施体制の整備 ・学習相談を担当するチューデント・アシスタント(SA)として優れた学生を採用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のコンテンツ化の推進 ・教材開発の企画・立案 ・コースマネージメントシステムをベースとしたe-learningの先導的モデルコースの作成 ・アクティブ・ラーニングを可能にする機器の整備された学習空間の提供 ・学生の到達度に合わせた対話型学習支援の実現 ・ライティングスキル、情報リテラシースキルの涵養 ・教員と職員の連携による「授業資料ナビゲータ」の推進 ・コンテンツ作成、配信のためのライセンス処理 ・電子図書、オンデマンド印刷を含む、多様な形式でのコンテンツの提供 ・個別学習／グループ学習に対応する情報通信機器が整備された学習空間の提供 ・SAの育成
<p>「教職員の職能開発」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の教員の授業改善に向けた努力を支援する体制を整える。 ・教員と協働する専門性の高い職員の育成に向け、スタッフ・ディベロップメント(SD)の機会と場を充実する。 	<ul style="list-style-type: none"> ★カリキュラムや教育方法の改善、教員の職能開発を推進 ・SDを強化、充実し、専門的知識及び業務遂行能力の向上を図るとともに、業務の効率化・合理化を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業へのICT活用にかかるFD/SDの実施

対面型講義

オフィス
ワー@
AL

個別的情報リ
テラ
シー教育

学生
による
学習
支援

學習



教材・教科書の電子化

動画教材、授業映像

電子
ジャー
ナル・e-
books

誰でも
使える
Web上
の資源

CURATOR (機関リポジトリ)

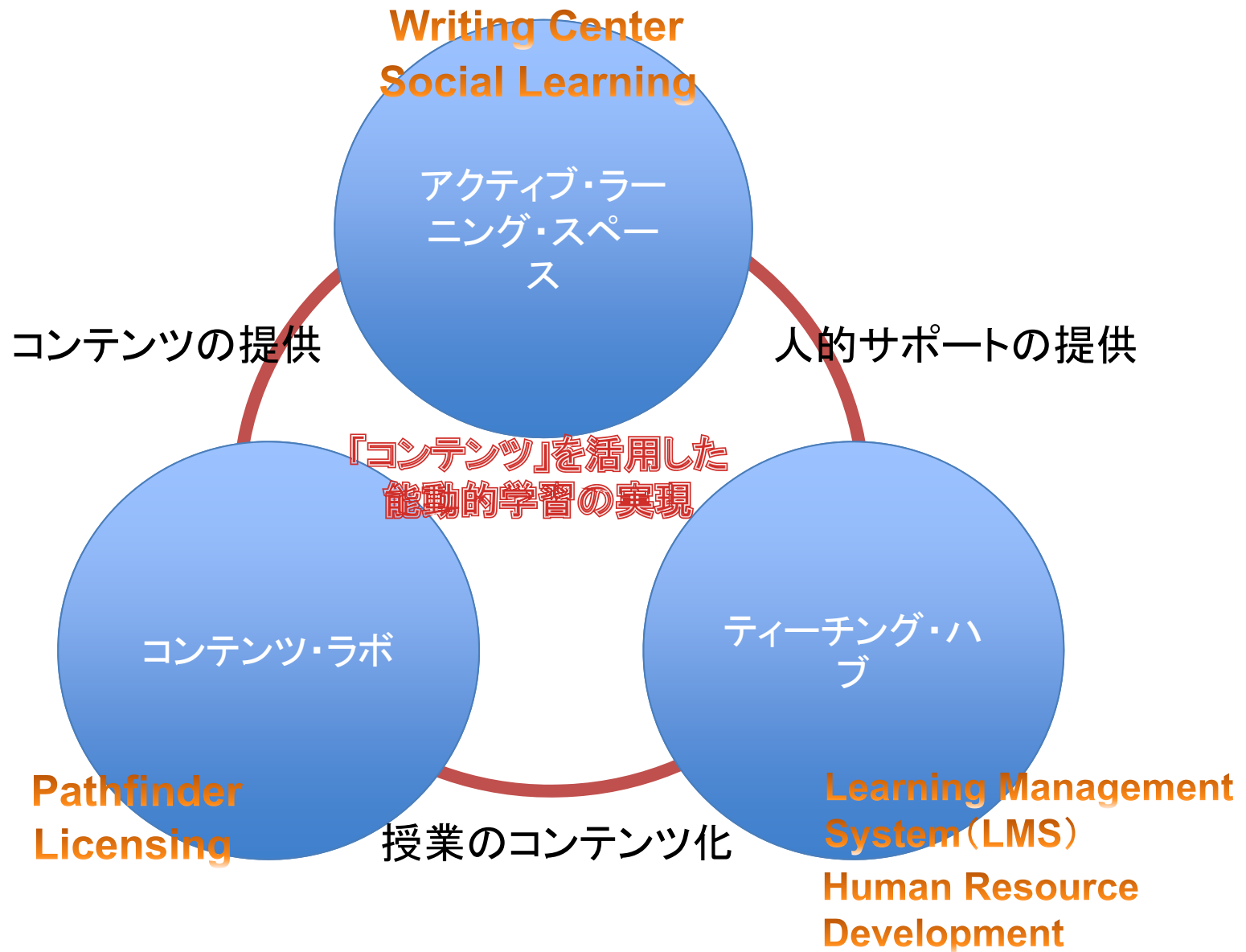
傳統的圖書館藏書

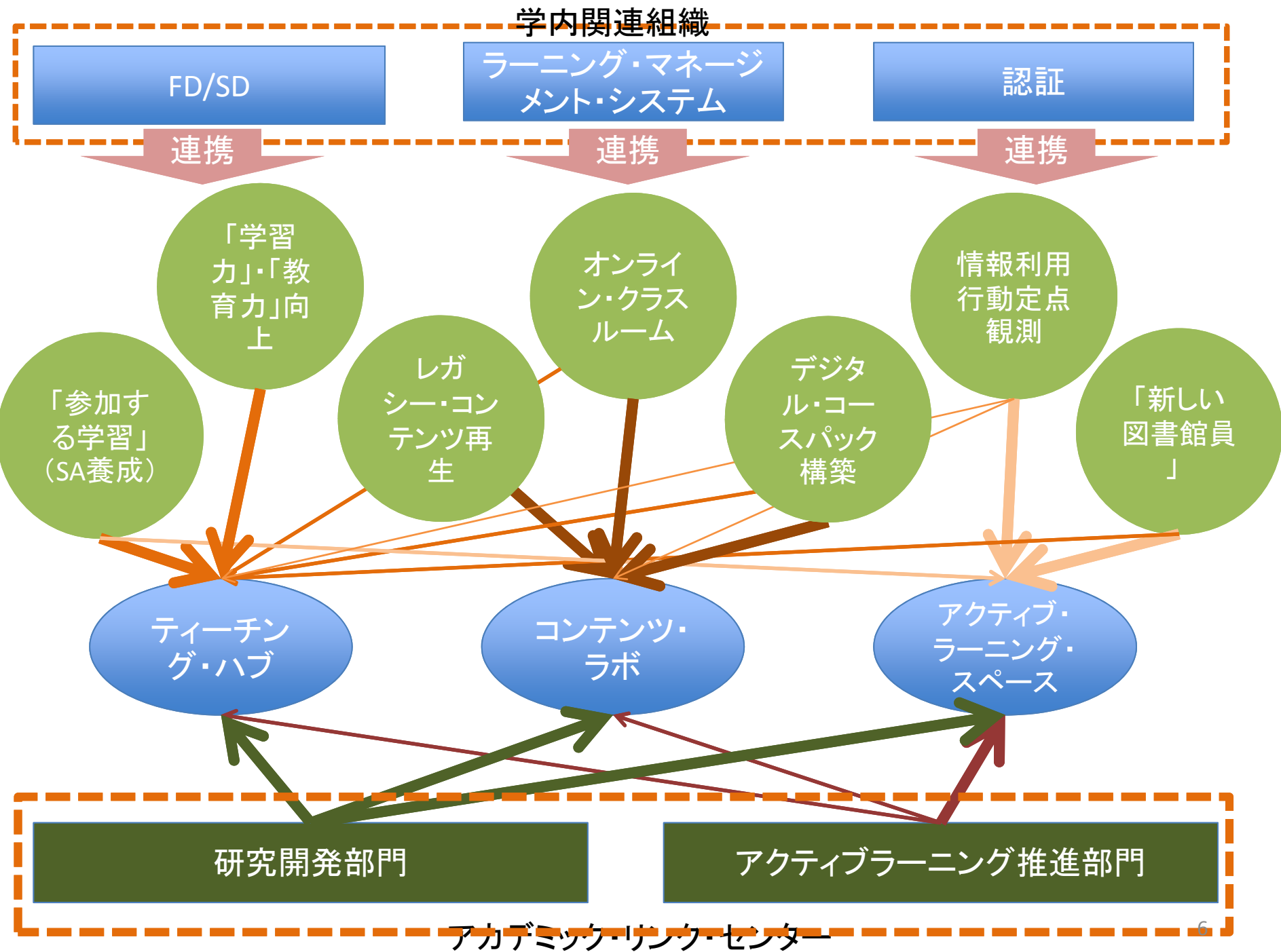
場所としてのアカデミック・リンク

ゼミナール

学内外で生産
される研究成果

多様なニーズに対応する快適・安全な学習空間＋コンテンツ＋人的学習支援



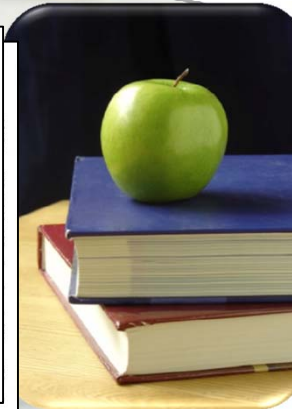


デジタルコースパック構築プロジェクト

講義資料

A Particle Filter with Optimal Discrete Density for

Abstract—This paper presents a particle filter for estimating the hidden state of a discrete-time system with continuous-time observations. The filter is based on a particle filter with a discrete-time state space and a continuous-time observation space. The filter is based on a particle filter with a discrete-time state space and a continuous-time observation space. The filter is based on a particle filter with a discrete-time state space and a continuous-time observation space.



電子書籍



レガシー・コンテンツ再生プロジェクト

ビデオ映像



オンライン・クラスルームプロジェクト

- 多様な形式のコンテンツの作成
- オールインワンでの提供(コンテンツ間の相互リンク)
- プラットホーム インディペンダントな環境
- 授業毎のカスタマイズ



授業資料ナビをベースにしたコンテンツ作成

教養コア前期	教養展開科目	文学部
2011年度前期の普通教育教養コア科目の一部の授業について作成しています。		
<div> <div> <div>11</div> <div>前期前半開講</div> </div> <div> <div>12</div> <div>前期後半開講</div> </div> </div>		
<div> <div> <div>一ア行</div> <div> <div>14</div> <div>イメージの歴史 1 / 15</div> <div>イメージの歴史 2</div> <div>上村清雄先生他</div> </div> </div> <div> <div> <div>一カ行</div> <div> <div>16</div> <div>外国文化をさぐる1(ロシア)</div> <div>島山祐介先生</div> </div> <div> <div>17</div> <div>芸術・地域とともに生きる</div> <div>宮内崇裕先生</div> </div> <div> <div>18</div> <div>心と植物</div> <div>根本みどり先生</div> </div> <div> <div>19</div> <div>経済学 2 / 20</div> <div>経済学 3</div> <div>古内博行先生</div> </div> <div> <div>21</div> <div>経済学 4 / 22</div> <div>経済学 5</div> <div>神原健一先生</div> </div> <div> <div>23</div> <div>経済学 6 / 24</div> <div>経済学 7</div> <div>安孫子誠男先生</div> </div> <div> <div>25</div> <div>建築の芸術と文化</div> <div>原田幸博先生</div> </div> <div> <div>26</div> <div>心と自己の科学 1 / 27</div> <div>心と自己の科学 2</div> <div>磯部智加衣先生</div> </div> <div> <div>28</div> <div>心の科学の成立と発展 1 / 29</div> <div>心の科学の成立と発展 2</div> <div>大戸治先生</div> </div> <div> <div>30</div> <div>心の健康と行動</div> <div>花澤寿先生他</div> </div> </div> </div> <div> <div> <div>一サ行</div> <div> <div>31</div> <div>継続運動と生命</div> <div>山本啓一先生</div> </div> <div> <div>32</div> <div>物理 1 / 33</div> <div>物理 2</div> <div>越谷重夫先生</div> </div> <div> <div>34</div> <div>住まいの文化を探る</div> <div>丸山純先生他</div> </div> <div> <div>35</div> <div>政治学 1 / 36</div> <div>政治学 2</div> <div>高光佳絵先生</div> </div> <div> <div>37</div> <div>生涯防衛 1 / 38</div> <div>生涯防衛 2</div> <div>深町利彦先生</div> </div> <div> <div>39</div> <div>生物と形</div> <div>小笠原道生先生</div> </div> <div> <div>40</div> <div>世界の言語から見た日本語</div> <div>中川裕先生</div> </div> </div> </div> <div> <div> <div>一タ行</div> <div> <div>41</div> <div>哲学 3</div> <div>法野谷俊哉先生</div> </div> <div> <div>42</div> <div>哲学 6</div> <div>山本新先生</div> </div> <div> <div>43</div> <div>哲学 7</div> <div>望月由紀先生</div> </div> <div> <div>44</div> <div>哲学 8</div> <div>山本新先生</div> </div> </div> </div> <div> <div> <div>一ナ行</div> <div> <div>45</div> <div>日本文化をさぐる</div> <div>久保勇先生</div> </div> </div> </div> </div>		
<div> <div> <div>一ハ行</div> <div> <div>46</div> <div>文化の多様性をさぐる</div> <div>鈴木伸枝先生他</div> </div> </div> <div> <div> <div>一マ行</div> <div> <div>47</div> <div>民俗と暮らし 1</div> <div>和田健先生</div> </div> </div> <div> <div> <div>一ヤ行</div> <div> <div>48</div> <div>病とともに生きる</div> <div>谷本真理子先生他</div> </div> </div> </div></div></div>		
<div> <div> <div>一ツ行</div> <div> <div>49</div> <div>ライフサイクルとヒューマンケア</div> <div>黒田久美子先生/野地有子先生</div> </div> </div> <div> <div> <div>50</div> <div>今村恵美子先生/永野みどり先生</div> <div>臨床教育学の基礎</div> <div>上杉賢士先生</div> </div> </div> <div> <div> <div>51</div> <div>倫理 1 / 52</div> <div>倫理 2</div> <div>法野谷俊哉先生</div> </div> </div> <div> <div> <div>53</div> <div>倫理 3 / 54</div> <div>倫理 4</div> <div>法野谷俊哉先生</div> </div> </div> <div> <div> <div>55</div> <div>倫理 5</div> <div>吉水明弘先生</div> </div> </div> <div> <div> <div>56</div> <div>倫理 2</div> <div>登尾章先生</div> </div> </div> <div> <div> <div>57</div> <div>倫理 6</div> <div>望月由紀先生</div> </div> </div> <div> <div> <div>58</div> <div>歴史学 1 / 59</div> <div>歴史学 2</div> <div>山田賢先生</div> </div> </div> <div> <div> <div>60</div> <div>歴史学 4</div> <div>秋葉淳先生</div> </div> </div> </div>		
<div> <div> <div>一ワ行</div> </div> </div>		

授業資料ナビゲータ(PathFinder)

教養展開科目

平成 23 年度(2011) 授業コード: Q15051101

教育・学校と社会

月 5 白川優治先生

キーワード: 教育と社会 教育社会学 教育問題 教育政策

☒ 一実際に利用した資料にはチェックをしましょう。

Web 授業のテーマに関連したデータベースやサイトです。

☐ 文部科学省 [【http://www.mext.go.jp/】](http://www.mext.go.jp/)
→ 教育全般についての情報があります。白書、統計等へのリンクもあります。

☐ 読売新聞 教育ページ [【http://www.yomiuri.co.jp/kyoiku/】](http://www.yomiuri.co.jp/kyoiku/)
→ 以下にあげる新聞のページでは、教育問題の過去、また最新の情報を得られます。また、図書館HPのヨミダス(学内のみ)から、キーワードで検索してみましょう。1986年以降のデータを検索したり、全文が読めるものもあります。

☐ 朝日新聞 教育ページ [【http://www.asahi.com/edu/】](http://www.asahi.com/edu/)
→ この他にも、図書館HPの朝蔵Ⅱ(学内のみ)から、キーワードで検索してみましょう。1986年以降のデータを検索したり、全文が読めるものもあります。

☐ 毎日新聞 子育て・教育ページ [【http://mainichi.jp/life/edu/】](http://mainichi.jp/life/edu/)

☐ 産経新聞 教育ページ [【http://sankei.jp.msn.com/life/newslist/education-edc-n1.html】](http://sankei.jp.msn.com/life/newslist/education-edc-n1.html)

図書 本には、テーマに関連する内容がまとめられています。授業のテーマをつまむにはまずはここから始めましょう。
教育学に関する図書は、分類番号が「371」の書棚にありますので、直接その場所に行って、どのような本があるのか手にとってみましょう。

★のついている図書は、授業期間中(4月~8月)は本館1階 授業資料ナビコーナーにあります。

☐ 『教育の社会学:「常識」の問い方、見直し方』(有斐閣アルマ; Specialized) 新版 苅谷剛彦[ほか]著 有斐閣 2010

→ 現代日本の教育問題の焦点、「いじめ」「幼児教育」「ジェンダーと教育」「学歴社会」をとりあげています。実態の認識から、方法の特徴、理論・研究の動向まで学べます。

★【発注中】

☐ 『教育社会学』(有斐閣ブックス) 柴野昌山, 菊池城司, 竹内洋編有斐閣 1992

★【発注中】

☐ 『教育学をつかむ』(Textbooks tsukamu) 木村元, 小玉重夫, 船橋一男著 有斐閣 2009

→ 教育学のエッセンスを解説した教育学入門です。

★【本館閲覧室3階 371/KY01】

☐ 『教育社会の設計』(UP選書) 矢野真和著東京大学出版会 2001

→ 学校・会社・家庭の相互関係を実証的に解明しています。

★【本館閲覧室3階 371.3/KY01】

☐ 『教育学』(ヒューマニティーズ = Humanities) 広田照幸著 岩波書店 2009

→ 教育の思想や制度は、社会の大きな変動のなかで変容を遂げていますが、その中でいま教育学の何が組み換えられていくべきなのかを述べています。

★【本館閲覧室3階 371/KY01】

☐ 『教育論議の作法: 教育の日常を懐疑的に読み解く』 広田照幸著 時事通信出版局 2011

★【発注中】

LMS(Learning Management System)との連携

The image shows two overlapping screenshots of the Moodle Learning Management System (LMS) interface.

Left Screenshot (Moodle 2.0 Home Page):

- Header:** Moodle logo, navigation links (About, News, Support, Community, Development, Downloads, My courses), and a search bar.
- Left Sidebar:**
 - 2.0** (Large version number)
 - 案内 (Guidance):** Main page, Recent updates, Help.
 - moodleがキミを助ける (Moodle helps you):** Moodleとは (What is Moodle?), 教師 (Teacher), 管理者 (Administrator), 開発者 (Developer).
 - 検索 (Search):** Search bar with buttons for '表示' (Display) and '検索' (Search).
 - ツールボックス (Toolbox):** Link元 (Link source), 関連ページの更新状況 (Update status of related pages), 特別ページ (Special pages), 印刷用バージョン (Print version), この版への固定リンク (Fixed link to this version).
 - 他の言語 (Other languages):** English, Español, বাংলা, Pycckий, 中文.
- Main Content Area:**
 - Moodleとは (What is Moodle?):** Moodle is an open-source software for creating online courses. It is licensed under the GNU General Public License (GPL). Moodle is a web-based system that allows teachers to create online courses and students to take them. Moodle is a free and open-source software that can be used to create online courses.
 - 参考リンク (Reference links):**
 - Wikipediaの「Moodle」の項目 (Wikipedia's article on Moodle)
 - Using Moodle (英文の入門書) (Using Moodle (English beginner's guide))
 - Presentations (英文) (Presentations (English))
 - Moodleの会議: MoodleMoots (Google) (Moodle's conference: MoodleMoots (Google))

Right Screenshot (Course Page: デジタル信号処理 (前期・月2))

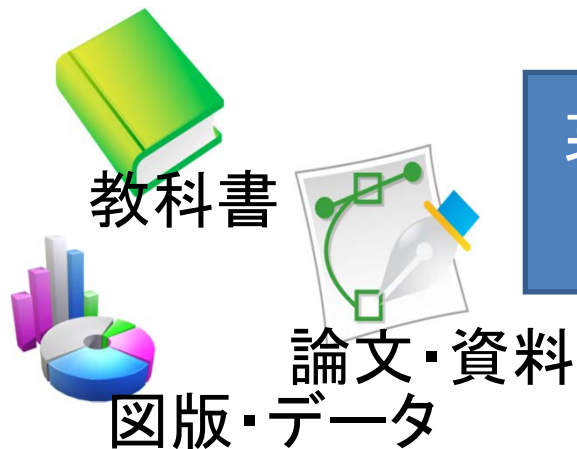
- Header:** You are logged in as 川本 一彦 (Kawamoto Ichihiko). (ログアウト) (Logout)
- Left Sidebar (Course Management):**
 - 人 (People): 参加者 (Participants)
 - フォーラムの検索 (Search forums): Search bar with 'Go' button.
 - 管理 (Management):
 - 標準モードの開始 (Start standard mode)
 - 設定 (Settings)
 - ロールの割り当て (Assign roles)
 - グループ (Groups)
 - バックアップ (Backup)
 - リストア (Restore)
 - インポート (Import)
 - リセット (Reset)
 - レポート (Reports)
 - 問題 (Questions)
 - ファイル (Files): T1U035001 から私を登録 (Register me from T1U035001)
 - プロフィール (Profile)
 - マイコース (My course):
 - はじめてのMoodle(教員用) (First time Moodle (Teacher))
 - デジタル信号処理(前期・月2) (Digital Signal Processing (First semester, Month 2))
 - 統計学B1(前期・木・川本) (Statistics B1 (First semester, Thursday, Kawamoto))
 - すべてのコース... (All courses...)
 - 最近の活動 (Recent activity): 2011年 05月 27日 (木曜日) 11:40 以上の活動 (Activity from May 27, 2011 (Thursday) 11:40 onwards)
 - コース更新内容: (Course update content)
- Main Content Area (Course Details):**
 - トピックアウトライン (Topic outline):**
 - 1 4/11 デジタル信号とアナログ信号 (Digital signal and analog signal) [サイエンスチャンネル] [講義資料]
 - 2 4/18 信号の分解表現 (Signal decomposition) [講義資料]
 - 3 4/25 フーリエ級数からフーリエ変換へ (From Fourier series to Fourier transform) [講義資料 (課題あり)]
 - 4 5/2 標準化モデルと離散フーリエ変換 (Standardized model and discrete Fourier transform) [講義資料 (課題あり)]
 - 5 5/10 標準化モデルと離散フーリエ変換(2) (Standardized model and discrete Fourier transform (2))
 - 6 5/17 高速フーリエ変換, ラプラス変換 (Fast Fourier transform, Laplace transform) [講義資料 (課題あり)] [講義資料]
 - 7 5/23 中間試験 持ち込みなし (Midterm exam, no bring-in)
 - 8 5/30 ラプラス変換 講義資料は第6回目のものを使用 (Laplace transform, use the 6th lecture material)
 - 9 6/6 z変換 (z-transform) [講義資料]
 - 10 6/13 有期応答(FIR)システム: 移動平均システム (Finite impulse response system: moving average system) [講義資料]
 - 11
 - 12
- Right Sidebar (Course Tools):**
 - 最新ニュース (Latest news):** 新しいトピックを追加する... (新しいニュースはありません...) (Add new topic... (There is no new news...))
 - 直近イベント (Upcoming events):** 直近のイベントはありません。 (There are no upcoming events. カレンダーへ移動する... (Move to calendar...))
 - 活動 (Activity):** フォーラム (Forum), リソース (Resources)

デジタルコースパック構築プロジェクト

Digitally Packaged Course Project

コンテンツの電子化を通じた学習環境の整備
授業時間外学習の充実のために、授業教材の権利処理

授業時間内の教室
＜多様な教材の利用＞



著作権処理・
電子化

LMS(Moodle)を通じた
授業時間外の学習



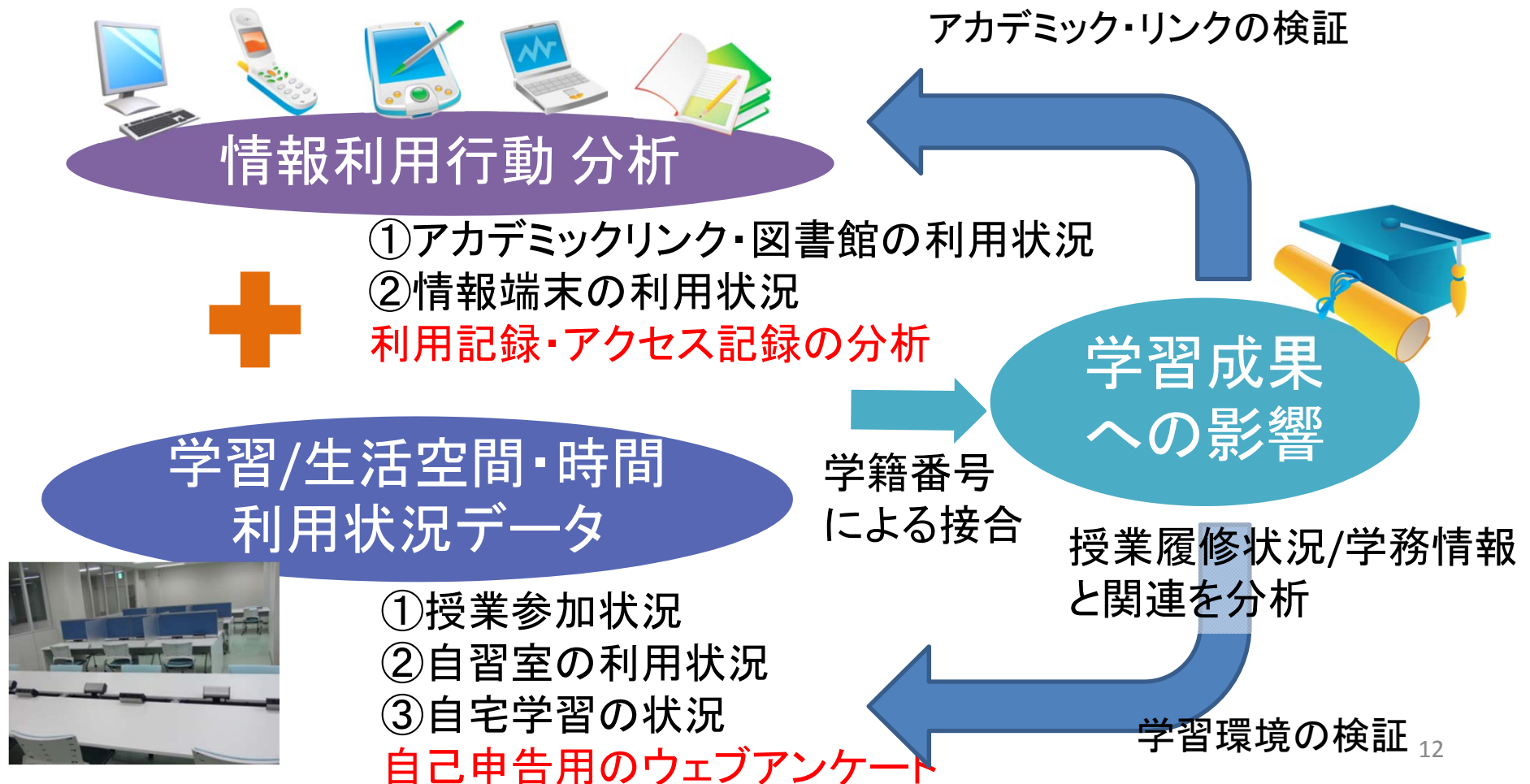
著作権法上の制約に、正当に「権利処理」することで対応

2011年度 普遍教育:教科書指定授業 36.35%(466/1282科目)

普遍教育の多くの授業では、さまざまな教材を利用して授業を実施

情報利用行動定点観測プロジェクト Student Behavior Observatory

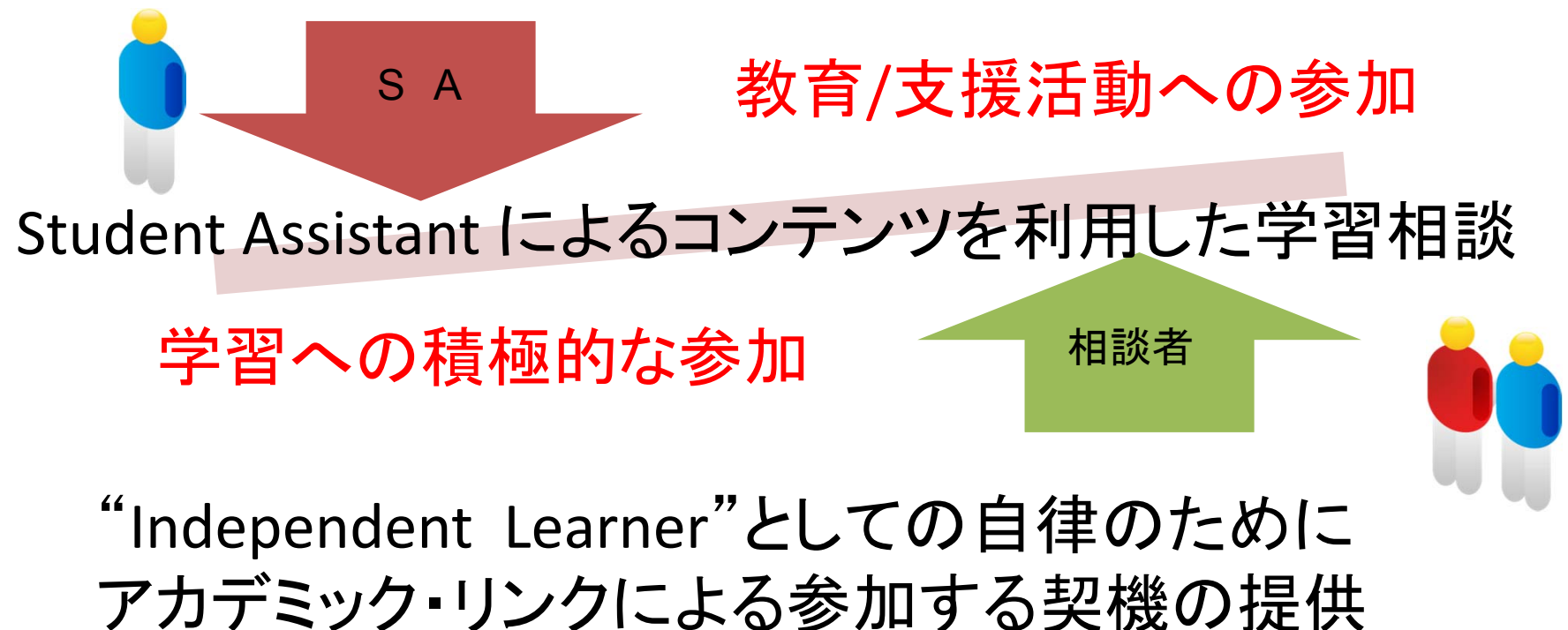
学生の学習行動と学習成果の関連を、情報利用行動と学習/
生活空間の利用状況から継続的・横断的に検証する



「参加する学習」プロジェクト

Social Learning Project

アクティブラーニングスペースでのコンテンツを利用した「学生による学生のための学習相談」の実現とそのためのアカデミック・リンクによる体系的Student Assistant (SA)研修の構築



「教育力」「学習力」向上プロジェクト Faculty, Staff & Student Development Project

アカデミックリンク機能の理解と教育・学習スキルの向上

ICT・コンテンツを活用した教育・学習の向上

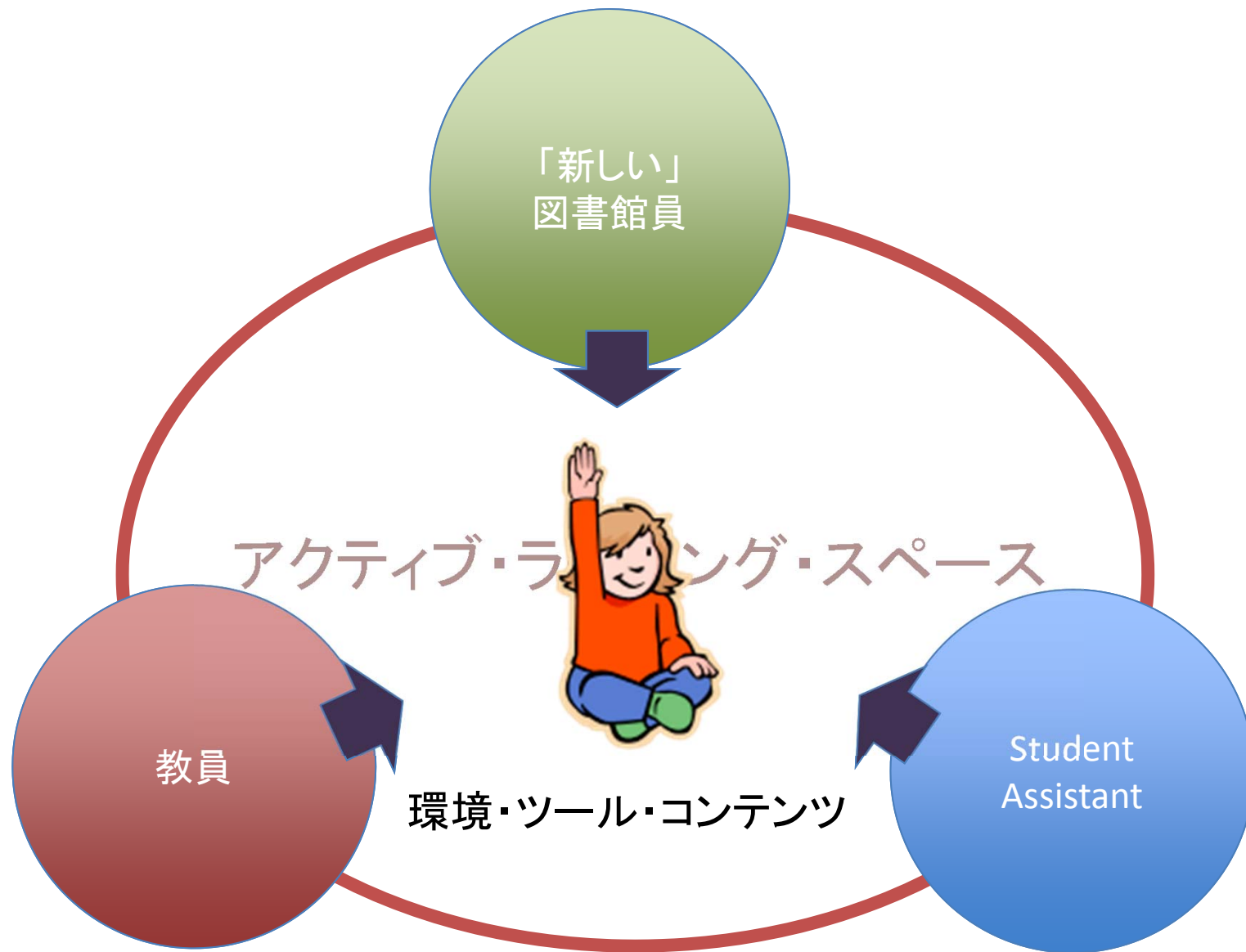
アカデミック リンクセンターによる
セミナー・シンポジウムの開催

教員の
教育力

学生の
学習力

職員の
支援力

普遍教育センターとの連携／全学FD企画室・各部局のFDへの貢献



対面型講義

アカデミック・リンクの目標

授業の
コンテンツ化

「学習環境とコンテンツ提供環境の融合」を基本
さまざまな学習支援を実施



コンテンツを活用したアクティブ・ラーニングの実現



知識基盤社会においてコンテンツを十分に活用
しながら生涯学び続けることができる人材を輩出

ゼミナール

学内外で生産
される研究成果

多様なニーズに対応する快適・安全な学習空間＋コンテンツ＋人的学習支援